

ICHIKEN REPORT

第94期 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

イチケンは2020年6月15日 90周年を迎えました

創業90周年を機にコーポレートメッセージ「人と未来に寄り添う「暮らし空間」を。」をスタートさせます。

私たちは「商業空間事業を通じ、快適で豊かな社会の実現をめざす」という理念のもと、人々の「暮らし」に誠実に向き合い、一生懸命取り組みます。

そして創業100周年に向かって、人と未来に寄り添う「暮らし空間」を提案していきます。



湯山製作所豊中新工場(大阪)



大分 OPA



ベルクスタウン草加谷塚店(埼玉)



エステムコート八王子(東京)



赤坂三丁目ホテル(東京)



コープ山科新十条店(京都)



代表取締役社長 長谷川 博之

創業100周年に向かって 人と未来に寄り添う「暮らし空間」を。

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社事業への厚いご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、このたび新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、影響を受けた方々の一日も早い回復と、感染拡大の早期終息を心よりお祈りいたします。第94期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の概況をご報告し、今後の事業展開をご説明させていただきます。

Q 当期の決算のポイントを
お聞かせください。

A 受注面の競争激化から売上高は業績予想を
下回りましたが、完成工事総利益率を改善し、
利益面では業績予想を達成しました。

建設業界では、東京オリンピック・パラリンピック関連の建設工事が一巡し、受注面での競争が激しさを増しております。このような環境のもと、当社は建設事業における「採算性と生産性を重視した取り組みを強化」を掲げ、利益率が高い商業施設のリニューアル工事の拡大に注力

してまいりました。商業施設の完成工事高に占める同工事の割合は、前年同期の16.8%から39.0%と大幅に増加し、完成工事総利益率の改善に寄与しました。

一方、不動産事業では、引き続き新大阪のビジネスホテルが計画通りに稼働し、賃料収益による売上高・利益ともに拡大することができました。

これらの結果、売上高は業績予想をやや下回ったものの、利益面では各利益とも上回るすることができました。

Q 新中期経営計画のポイントについて
ご説明願います。

KEYWORDで見るICHIKEN 「中期経営計画」(2020~2022年度)

イチケンの事業内容を、キーワードごとに抜粋しご紹介いたします。

■ 創業100周年に向けたビジョン

基本方針

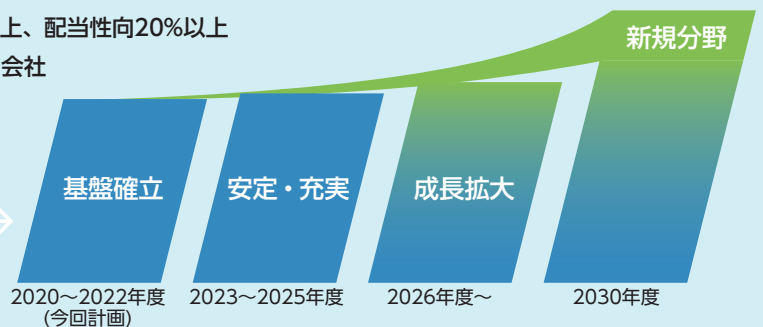
- 商業空間事業を中心とし、確実な成長をとげる
- 働きやすい職場を追求し、従業員一人ひとりの能力と働きがいを向上させる
- 技術者集団として品質・安全・原価・生産性を追求する
- 事業規模 売上高1,000億超、営業利益50億円以上、配当性向20%以上
- 社会のニーズに常に対応し、環境の変化に負けない会社
- 財務基盤の充実と安定

創業 100周年

グループ売上高 1,000億円超へ

新規分野

事業基盤を確立し、安定・充実させ、
成長拡大へ向かう段階的な計画を
推進していきます。



■ 中期経営計画 (2020~2022年度)

売上高900億円台定着へ・営業利益40億円以上確保

数値目標	2021年3月期	利益率	2022年3月期	利益率	2023年3月期	利益率
売上高	88,000百万円		89,000百万円		90,000百万円	
営業利益	4,340百万円	4.9%	4,390百万円	4.9%	4,440百万円	4.9%
経常利益	4,240百万円	4.8%	4,290百万円	4.8%	4,340百万円	4.8%



A これまでの重点施策をベースに SDGsを 加味し、さらなる成長に向けた事業基盤 の強化を進めてまいります。

2016年3月期からの前中期経営計画では、開始2年目で最終年度の数値目標を達成して修正計画を発表し、開始3年連続で過去最高益を更新しました。この修正計画を含め、すべての年度で目標数値を超過達成することができました。

10年後の創業100周年に向けて「安定した成長をするとともに社会の持続的発展に貢献する企業へ」とするビジョンと売上高1,000億円超、営業利益50億円以上、配当性向20%以上との事業規模の実現を目指し、第95期からの3ヵ年新中期経営計画(2021年3月期から2023年3月期)を策定しました。

中核となる建設事業では、基本戦略として「差別化・優位性の確立」を掲げ、前中期経営計画からブラッシュアップした重点施策では、SDGsの理念を加味した社会課題の解決と持続可能な社会の実現を目指し、さらなる成長に向けた事業基盤の強化を進めてまいります。

数値目標では、2023年3月期に売上高900億円台の定着を図り、3ヵ年を通じて営業利益40億円以上の確保を目指します。これまで培ってきたコア事業である商業施設の建築ノウハウや企画・提案力を活かし、店舗等の新築・内装リニューアル工事のほか、「ステイホーム」などで広

がる電子商取引の拠点となる物流施設の建設需要にも対応した営業展開を推進してまいります。また、教育関連施設の建設、老年人口の増加による医療・介護施設の建設等、幅広い民間事業者の需要にも取り組んでまいります。

さらに総額100億円規模の投資を行い、持続可能な成長を可能とする強固な事業基盤の確立を図るため産学連携による技術開発や生産性や企業認知度に向けた積極的な取り組みのほか、不動産事業のさらなる展開に向けた優良物件の取得強化、M&Aなどの事業領域拡大、さらに人材育成や「新3K(給料・休日・希望)」に基づく働きやすい環境構築に向けた投資を推進してまいります。

Q 株主の皆さまへのメッセージを お願いします。

A サステナブルな社会づくりを支える 事業活動と、株主の皆さまへの安定的な 利益還元の両立に努めてまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大により、建築資材のサプライチェーンでの混乱や停滞、ソーシャルディスタンスによる新たな生活様式の浸透など、新たに対処すべき課題が生じています。さらに建設業界におきましては、少子高齢化に伴う労働人口の減少、住宅関連市場の縮小等多くの懸念材料が顕在化し、今後も予断を許さない状況

安定した成長をするとともに社会の持続的発展に貢献する企業へ



重点施策 中核となる建設事業での基本戦略は『差別化・優位性の確立』

施策	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	到達イメージ
技術提案力の強化	7 環境・社会 への配慮 12 働き方 の改善 13 地域に 貢献する	BIMフロントローディング進化 顧客満足度向上	現開発中の技術等の確立 産学連携開発案件の継続	多様化するニーズに 対応できる提案力の獲得
建設事業は採算性と 生産性を重視した 取り組みを強化	9 環境・社会 への配慮 11 地域に 貢献する	受注構成の戦略的見直し 生産性向上施策の推進 コスト競争力強化		売上高900億円台・ 営業利益40億円以上安定
不動産事業の拡大	9 環境・社会 への配慮 11 地域に 貢献する	新規収益物件・長期保有物件取得検討 不動産に強い人材の育成	新たなスキームの情報収集と取り組み推進 不動産を絡めた営業強化	建設事業の収益を 補完できる第2の柱へ成長
新規事業への取り組み ~新たな成長基盤を構築~	8 環境・社会 への配慮 10 地域に 貢献する	海外市場調査 国内新規事業の積極的検討	現地法人設立・投資等を推進し事業化へ 投資 新規事業での収益計上へ	国内外での新規事業の 実現
マネジメント力の向上	3 環境・社会 への配慮 8 環境・社会 への配慮 17 地域に 貢献する	ESGへの取り組みを強化、社会課題解決への貢献度向上へ 経営の透明性向上と働き方改革の推進		企業力のさらなる向上

投資施策

3年間で企業価値向上・事業領域拡大・「人材」開発に対し総額100億円規模の投資を行い持続可能な成長へ向けた強固な事業基盤構築を計画します。

資本施策

事業基盤確立のための積極的な投資を進めるとともに株主さまに対し安定的な利益還元を行い、投資と配当の両立を目指します。株主さまへの利益還元として「配当性向20%以上」「ROE10%以上」を基本的な方針とします。

当社は SDGs の理念に賛同し、積極的に持続可能な社会への取り組みを推進していきます。





が続きます。しかしながら当社は、幅広く対応できる技術力を活かし、お客さまの要望に柔軟に対応し、事業成長を進めてきました。これまで同様に、このピンチをチャンスに変え、難局を乗り切ってまいります。

当社は2020年6月に創業90周年を迎えました。これまでの成長を支えていただいた株主の皆さまに深く感謝し、90周年記念株主配当を行います。100周年を念頭においた新中期経営計画の重点施策に組み込んだSDGsに係る目標は、2030年までに達成することを目指しています。社会課題の解決を意識した事業活動を着実に進め、持続可能な社会づくりを支え、すべてのステークホルダーとの持続的成長に向けた事業基盤の確立に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社事業への長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

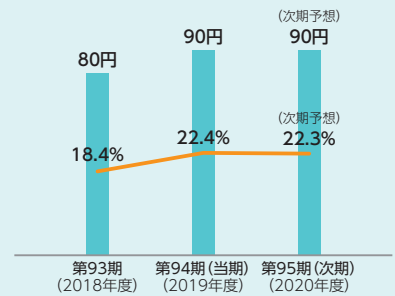


■ 株主還元状況

当社は、事業の成長・拡大および財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主の皆さまへの直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益の配分に関しましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

次期(第95期)の期末配当につきましては、上記の基本方針および次期の業績予想数値を勘案し、当期と同額の1株当たり90円を予想しております。

1株当たり配当金と配当性向の推移



財務データ

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2020年3月31日現在	前期 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	43,144	53,412
固定資産	9,573	5,256
有形固定資産	6,695	2,096
無形固定資産	156	214
投資その他の資産	2,721	2,945
資産合計	52,717	58,669
負債の部		
流動負債	25,206	35,213
固定負債	5,631	3,657
負債合計	30,837	38,871
純資産の部		
株主資本	21,611	19,265
資本金	4,327	4,321
資本剰余金	212	206
利益剰余金	17,097	14,761
自己株式	△25	△24
評価・換算差額等	241	494
新株予約権	27	38
純資産合計	21,880	19,797
負債純資産合計	52,717	58,669

損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 自2019年4月1日 至2020年3月31日	前期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高	86,513	93,824
売上原価	79,264	86,721
売上総利益	7,248	7,103
販売費及び一般管理費	2,867	2,484
営業利益	4,381	4,618
営業外収益	54	37
営業外費用	194	65
経常利益	4,241	4,590
特別利益	-	7
特別損失	1	26
税引前当期純利益	4,240	4,570
法人税、住民税及び事業税	1,347	1,355
法人税等調整額	△22	58
当期純利益	2,915	3,157

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

表示区分	当期 自2019年4月1日 至2020年3月31日	前期 自2018年4月1日 至2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,622	△8,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,445	△1,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,213	△584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	390	△9,830
現金及び現金同等物の期首残高	11,762	21,593
現金及び現金同等物の期末残高	12,153	11,762

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

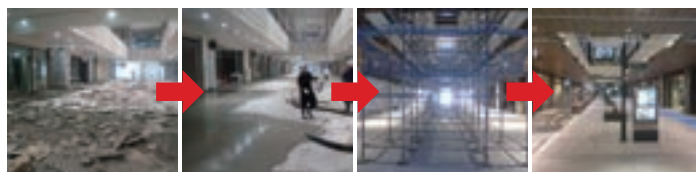


イチケンの現場力を見る

コースカ ベイサイド ストアーズ (ショッピングプラザ横須賀リニューアル計画)

ショッピングプラザ横須賀は1991年にダイエーでの開業からイオンリテールストア株式会社へと引き継がれ2019年3月で一旦閉店となりました。その後、施設のアセットマネージャーであるアジア・パシフィック・ランド・(ジャパン)・リミテッド主導による大幅なリノベーションを経て、2020年春から施設名を『Coaska Bayside Stores』(コースカ ベイサイド ストアーズ)と改め、新たな商業施設として生まれ変わりました。

今回は巨大ショッピングモールのリニューアル工事におけるイチケンの現場力をご紹介します。



既存床材撤去 床タイル下地作業 吹抜け部足場組立て 天井・壁・床仕上げ

Answer 私がお答えします

● 今回の現場のポイントは

施工規模12万平米、全館7フロアと4つの大規模な吹き抜け空間のリニューアル工事

7フロアすべてで同時に作業を進めるため、解体工事、内装工事、設備工事等 工種毎に2~3社の協力会社を各フロア工事工区、工事場所(床・壁・天井等)それぞれに連動させた3次元工程表で進捗管理を行いました。ピーク時には、約300名の作業員が効率よく作業を進めることができました。

ショッピングモールの見せ場である、大規模な吹き抜け空間のリニューアル工事は、膨大な量の足場を先に組み立ててから作業を進めたいところですが、ベースとなる床仕上げ工事の下地作業を前工程で実施することで安全と品質の両立にこだわりました。

● 所長にとってイチケンの現場力(強み)とは

リニューアル工事ならではの設計変更や出店テナントからの修正依頼等、お客さまや設計監修者さまのニーズを把握して、提案書を作成し、形にするといった豊富な経験を基に先読みできる適応力がイチケンの強みだと思います。

● A工事の実設計担当として心がけたことは

29年前の開業から幾度となく改修を繰り返された巨大ショッピングモールは問題の山積みでした。一番の問題は旧施工図と現場との整合性が取れないこと、まずは現況図の作成からのスタートでした。解体工事と並行して違いを確認し、現場・設計・内装監理と連携を密に、各自が「次に何をすべきか」を考え、お客さまのニーズにスピード感を持って取り組みました。これも「一気通貫」で施工できるイチケンの強みだと考えます。



東京支店/店舗建設2部
大前 恵司

物件概要

工 事 名: ショッピングプラザ横須賀リニューアル計画
 施 設 名: コースカ ベイサイド ストアーズ
 工 期: 2019年3月27日~2020年3月31日
 工 事 場 所: 神奈川県横須賀市本町2-1-12
 構 造: SRC造地上6F、PH1F(屋上1部駐車場)
 用 途: 物販・飲食店舗、健康・娯楽施設
 店 舗 数: 108店舗
 駐 車 台 数: 約1,400台
 敷 地 面 積: 40,550㎡
 延 床 面 積: 120,624㎡
 発 注 者: オーハイバレー有限公司
 A工事環境計画: 株式会社ナイツ・アンド・カンパニー
 /設計監修 株式会社ジオプラス
 A工事実施設計: 株式会社イチケン
 作 業 所 長: 大前 恵司
 A工事実施設計担当: 小坂田 明仁



技術本部/設計1部
小坂田 明仁

ICHIKEN NEWS FLASH 90周年記念事業のお知らせ

■ 90周年記念サイトを開設

これまでのイチケンの歴史を振り返るとともに、100周年に向け従業員とその家族、株主さま、お客さまに感謝を伝える機会として想いを形にしました。



90周年
記念サイト



■ 現場作業服のリニューアル

現場作業服のデザイン・素材や機能を刷新しました。コーポレートカラーを部分的に使用した配色にし、季節ごとに適応した優れた素材にしています。



■ 広告物の掲出

これからのイチケンを皆さまに知っていただきたく、この90周年を機に広告にも力を入れました。雑誌「日経ビジネス」(2020年1月20日発刊)の「トップに訊く」ではトップインタビューを掲載し、総合月刊誌「Wedge (ウエッジ)」(2020年3月20日発刊)の「次代に挑戦する企業」においてはアライアンスを締結している丸紅アークログ三川社長とのBIMの可視化技術等についての対談を掲載しています。



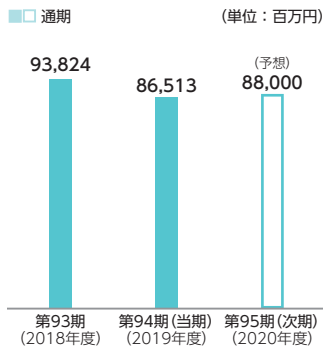
このたび、「イチ犬(いちけん)」という名前のキャラクターが社内公募にて誕生しました。周年ロゴと同様、現場の工事看板などで活躍しています。



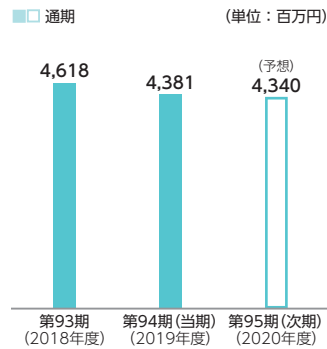
当社新キャラクター
「イチ犬(いちけん)」



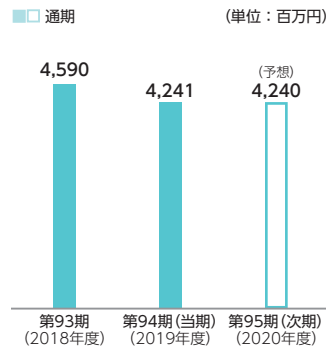
売上高



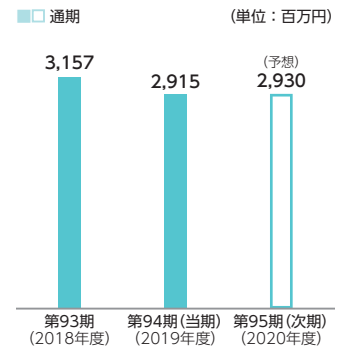
営業利益



経常利益



当期純利益



会社概要

2020年3月31日現在

商号	株式会社イチケン
創業	1930年6月
資本金	43億2,720万2,400円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	631名

事業所一覧

2020年3月31日現在

本店・東京支店	仙台営業所	ワオシティ三郷
関西支店	名古屋営業所	赤とんぼ広場 SC
九州支店	広島営業所	ハノイ事務所
札幌支店	沖縄営業所	

役員

2020年6月26日現在

代表取締役社長 長谷川 博之	取締役 (社外) 武内 秀明
取締役 西出 英雄	取締役 (社外) 伊知地 俊人
取締役 佐々 英昭	常勤監査役 渡辺 直之
取締役 湯ノ口 智治	監査役 (社外) 小川 真人
取締役 (社外) 藤田 進	監査役 (社外) 初瀬 貴
社長執行役員 長谷川 博之	執行役員 奥田 育久
専務執行役員 西出 英雄	執行役員 田中 実
常務執行役員 佐々 英昭	執行役員 中村 晃
常務執行役員 湯ノ口 智治	執行役員 明石 寛
常務執行役員 野崎 晃	執行役員 小谷 実弦
常務執行役員 磯野 慶治	執行役員 豊島 昭義
執行役員 濱野 明	執行役員 政清 弘晃

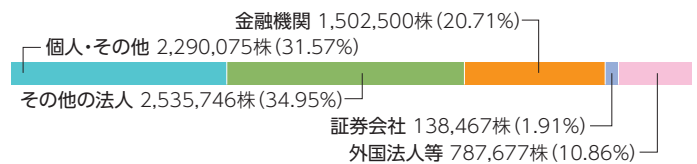
株式の状況

2020年3月31日現在

発行可能株式総数	22,240,000 株
発行済株式の総数 (自己株式 23,935 株を含む)	7,278,400 株
株主数	3,657 名

所有者別株式分布の状況

2020年3月31日現在



大株主

2020年3月31日現在

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社マルハン	2,342,800	32.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	424,500	5.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	249,600	3.44
株式会社三井住友銀行	199,200	2.74
全国一栄会持株会	178,000	2.45
BBH LUX/DAIWA SBI LUX FUNDS SICAV - DSBI JAPAN EQUITY SMALL CAP ABSOLUTE VALUE	150,000	2.06
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	131,800	1.81
株式会社三菱UFJ銀行	118,400	1.63
原 勝彦	95,100	1.31
原 久美	94,900	1.30

- (注) 1. 持株数上位10名の株主さまについて記載しております。
2. 持株比率は、各株主の持株数の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
3. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

株主メモ	事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
	定時株主総会	毎年6月開催	同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)
	基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 配当金受領株主確定日 毎年3月31日 なお中間配当を実施する場合の株主確定日は 毎年9月30日	上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ) http://www.ichiken.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
	同連絡先	東京都府中市日鋼町1番地1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	お知らせ	株式に関する住所変更等のお申出先について
				1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主さま 株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
				2. 特別口座に株式をお持ちの株主さま 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
				未払配当金のお支払いについて
				株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。